

北海道医療新聞

6月19日
2023年・2466号
毎週月曜日発行
年間購読料22,000円
(前納/税込)
発行所

北海道医療新聞社
〒060-0042
札幌市中央区大通西6丁目
(北海道医師会館)
TEL 011(221)7777
www.medim.co.jp

函館・高橋 移転に向け新病院着工

回りハ増床し、訓練室拡充

函館市の高橋病院（高は、時任町1のJ.R社宅
橋肇理事長・119床）跡地への移転に向けて、

新病院の建設を開始し、2024年7月の完成、10月のオープン予定で、移転後は回復期リハビリテーション病棟を増床し、訓練室の拡充を図るなど、長期入院患者の身体機能の維持回復に向



現段階での外観イメージ

行ってきたものの、建物の老朽化と、急勾配が多く高齢患者にとって通院に不慣れた立地であることから、市内全域のニーズに応え移転を決めた。規模はRC造4階建て延べ9400㎡で、内科、循環器内科、糖尿病・代謝内科、呼吸器内科、消化器内科、内視鏡内科、整形外科、リハビリテーション科、呼吸器リハビリテーション科の標榜科目は変わらない。

総病床数119床は同じだが、一般病床を59床から20床減らして39床とし、回復期リハビリ病棟を60床から80床に増やす。

1階は自然光を多く取り入れた明るく快適な造りとし、外来診察室、各種画像検査室を配置。約170㎡のコミュニケーションスペースを設け、病院主催の講演会や健康教室、町会や地域住民の催しなどに活用していく。

2階の回復期リハビリ病棟は4床室8室、2床室1室、個室6室を2病棟配置。3階は4床室8室と個室7室の一般病棟と介護医療院、4階は医局や会議室と、職員用の

カフェスタイルのラウンジを設ける。

2階の回復期リハビリ病棟に併設する形で、約460㎡のリハビリ室を設置する。言語聴覚室3部屋を中に設け、リハビリスタッフを10人ほど増員して約70人とする。

今後は移転地近隣の町会や地域包括支援センターに向けて、周知説明会を開催する予定としている。また現在の病院は、地域医療を継続していくためにクリニックなどとして診療機能を残す計画としている。

法人業務管理室の福澤高廣室長は「スタッフも移転に向けて実感が増しつつある。このまま一丸となって士気を高めていきたい」と力を込める。